

平成29年9月新見市議会定例会 9月4日（月）

日程第4（市長の行政報告について）

市 長 行 政 報 告

本日、9月市議会定例会を招集いたしましたところ、皆様方にはご多用のところをご出席賜りまして、誠にありがとうございます。6月市議会定例会から市政の主な事業等の進捗状況などについて、報告をさせていただいております。前回の市議会定例会以降についての報告をさせていただきます。

近年、集中豪雨による被害が多発しており、今年になりましても九州北部の豪雨災害をはじめ、各地で局地的な豪雨災害が発生しています。本市におきましても、いっどこで災害が起こるか分からないことから、防災・減災対策の充実は重要な課題と認識しております。このことも含め、7月25日から26日にかけて、本市に係りのある国会議員並びに、国土交通省を訪問し、防災・減災対策の充実強化、交通基盤の整備促進に対する要望書を提出してまいりました。また、8月23日には岡山県に出向き、同様の要望を行っております。

次に、これまで市議会の一般質問でも度々ご質問をいただいております、JR新見駅のバリアフリー化を含めた駅舎改修、ICOCAの伯備線高梁駅以北の各駅への導入などにつきまして、8月4日にJR岡山支社長に要望書を提出いたしましたところ、今後、検討会で話し合いを行っていききたいとの前向きな回答をいただき、協議を進めてまいることといたしました。

次に、地域おこし協力隊についてですが、平成26年2月から制度を導入し、今月着任した隊員で20人目となっております。これまでは、活動地域を指定した「地域型」、活動テーマを指定した「テーマ型」として募集してまいりましたが、この度新たに「提案型」地域おこし協力隊を募集することといたしました。この提案型では、新見市の活性化に何が必要か、何ができるのかを、応募者自らに考えていただき、取り組みたい事業案を企画・提案いただくこととしており、着任後から積極的な活動をいただけるものと期待しております。

それでは、新見市第2次総合振興計画に掲げております基本目標ごとに、その主要な事業についてご報告させていただきます。

まず、「あたたかい福祉のまち」についてであります。新見市出身者や縁のある^{ゆかり}医師等の交流や情報交換の場として、仮称ではありますが、「新見市ドクターネットワーク」の設立に向け、市内若手医師8名で、発起人会が立ち上がりました。今後、本市の医療の発展や医師確保につながるものと期待しております。

また、看護師不足解消に向けて、今年度、新たに6名の学生を加え、合計10名の学生に奨学支援金を給付し、応援しているところであります。

子育て支援では、7月から電子母子健康手帳の運用を開始しており、妊娠・出産・子育て期まで切れ目なくサポートするツールとして普及に努めてまいります。

健康づくり支援策として新たに導入した「健康ポイント制度」は、204組の申込みがありました。また、9月には、「ラジオ体操講習会」、10月には、「クアオルト健康ウォーキングオープニングイベント」を予定しており、こうした取り組みへの参加を通じて、多くの皆さまが運動習慣を身につけ、健康寿命の延伸につながるものと考えております。

次に、「はばたく産業のまち」についてであります。7月13日に、神郷工業団地で、木質バイオマス発電所と木質チップ製造工場の整備を行う「合同会社新見バイオマスエナジー」及び「合同会社バイオマスサプライ」と企業立地協定を締結いたしました。新たな雇用の創出や森林整備の促進につながるものと期待しているところであります。

来る9月7日から、宮城県仙台市において、第11回全国和牛能力共進会が開催され、岡山県の代表牛として、本市から種^{しゅぎゅう}牛の部に5頭が出場いたします。

『千屋牛』の名声を高め、更なるブランド化を図るためにも、優秀な成績を収めていただくことを大いに期待しているところであります。

千屋牛増頭に向けた取り組みとして、既存の「和牛改良事業補助金」に加え、新たに「千屋牛増頭奨励金」制度を創設し、千屋牛を増頭する意欲のある生産者の方々を支援することといたしました。

中小企業支援としては、企業の社員教育を支援し、新規学卒者等の市内企業への就職の促進に向けて、40歳未満の若年層の従業員に様々な資格を取得していただくため、市内企業等に対し、その経費の一部を助成することといたしました。

また、市外からの雇用の確保に向け、大学生を対象とし市内企業3社をまわる「企業めぐりバスツアー」を実施し、岡山大学などから8名の参加がありました。本市においても企業の進出や業務拡大が進められ、雇用の増加が見込まれることから、今後も継続して実施してまいりたいと考えております。

観光振興としては、7月15日から11月19日の期間で、市内28の観光スポット及び飲食店等の協力により、「にいみめぐりスタンプラリー」を実施しております。この取組により、本市の観光PRを強力に進め、市外からの集客、さらには市内を周遊していただける方の増加につなげてまいりたいと考えております。

次に「ゆたかな文化のまち」についてであります。中央図書館の来館者数は、8月末には9万人を超えております。特に、学校が夏休み期間中においては、毎日500人を超える来館者があるなど、多くの方に利用していただいております。

また、南庁舎前駐車場の完成により、9月1日から、市街地循環バス「ら・くるっと」が中央図書館前まで乗り入れており、このバスを利用する小・中学生及び高校生に無料乗車券を発行し、来館する際の負担軽減と利便性の向上、併せて図書館の利用促進を図っているところであります。

「塩から子」育成事業では、8月10日から12日の3日間で65名のボランティアの協力を得て「夏バージョン」の事業を、まんさく運動公園を中心に開催し、市内の児童生徒92名が元気一杯活動を行いました。また、小中学校区での「塩から子」育成事業として、草間台小学校や新砥小学校、塩城小学校で実施されたところであります。来年の1月には、冬バージョンの開催を予定しております。

次に、「かいてきな環境のまち」についてであります。6月補正予算で緊急経済対策として予算化いたしました地域間道路や生活道路の整備につきましては、8月末時点で約4割を発注し、9月末までには約9割に達する見込みであります。

情報・通信基盤の整備につきましては、光ファイバー網の安定した管理・運営を行うため、情報センター、サブセンター、宅内機器の更新事業に着手し、平成32年度には完了する予定です。また、8月1日から、市役所本庁舎及び南庁舎で、無料でインターネットが利用できる、岡山県公衆無線LANサービス「おかやまモバイルSPOT」の運用を開始いたしました。今後は、各支局に整備し、市民サービスの向上を図ってまいります。

防災対策では、6月13日に、「災害時における法律相談業務に関する協定」を岡山弁護士会と締結し、災害時の被災者支援の強化を図ったところであります。また、7月24日には、「新見市自主防災組織連絡協議会」を設立し、各地区防災会の連携を図るとともに、今後も市内全地区で自主防災組織が設立されるよう働きかけてまいります。

以上、市政運営の状況につきまして主なものをご報告いたしました。引き続き市政の推進にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。